



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月29日

上場取引所 東 大

上場会社名 日本電気硝子株式会社
 コード番号 5214 URL <http://www.neg.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長 (氏名) 有岡 雅行
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 松本 元春
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 077-537-1700

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	223,914	△15.5	21,938	△62.9	19,163	△64.8	7,247	△73.6
24年3月期第3四半期	264,845	△11.7	59,122	△40.0	54,420	△43.5	27,481	△53.0

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 13,438百万円 (△36.4%) 24年3月期第3四半期 21,120百万円 (△63.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	14.57	—
24年3月期第3四半期	55.25	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	666,436	480,825	71.3
24年3月期	687,069	475,736	68.4

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 474,840百万円 24年3月期 470,283百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				期末	合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	第4四半期末		
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	7.00	—	8.00	15.00	
25年3月期	—	8.00	—	—	—	
25年3月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00	

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	285,000 ~295,000	△15.7 ~△12.8	21,500 ~26,500	△65.1 ~△57.0	18,500 ~23,500	△67.5 ~△58.7	6,500 ~9,500	△66.5 ~△51.1	13.07 ~19.10

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は添付資料4ページ2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は添付資料4ページ2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期3Q	497,616,234 株	24年3月期	497,616,234 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

25年3月期3Q	206,805 株	24年3月期	206,939 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	497,409,993 株	24年3月期3Q	497,425,525 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、当社グループが合理的と判断する一定の前提に基づいて作成したものであり、リスクや不確定要素を含んだものです。実際の業績は、様々な重要な要素により、業績予想と大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。詳細は添付資料3ページ1.当四半期決算に関する定性的情報(2)連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) （参考）要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

[第3四半期累計期間]

①概況

欧州では債務危機沈静化の動きはあったものの景気の低迷は長引き、米国では財政の先行き懸念が強まる中、経済は緩やかな回復にとどまりました。また、中国では景気底打ちの兆しが現れましたが、本格的な回復には遠く、世界経済は予断を許さぬ状況が続きました。国内では、復興需要などによる下支え効果や政権交代後の景気回復への期待感が見られた一方、外需の不振により輸出は低迷し個人消費も伸び悩むなど、景気の後退局面が続きました。

このような中、第1四半期（平成24年4月1日～6月30日）から第2四半期（平成24年7月1日～9月30日）にかけて、主力の液晶ディスプレイ（LCD）用基板ガラスの需要復調を背景に業績は緩やかな回復軌道をたどったものの、第3四半期（平成24年10月1日～12月31日）には当該ガラスの販売減速や価格の下落などが業績を下押ししました。これらの結果、当第3四半期累計期間の業績は、前年同期を大きく下回りました。

②経営成績

	前第3四半期累計期間 (23/4～23/12) (億円)	当第3四半期累計期間 (24/4～24/12) (億円)	増減 (%)
売上高	2,648	2,239	△15
営業利益	591	219	△63
経常利益	544	191	△65
純利益	274	72	△74

(注) 記載金額は、億円未満を切捨てて表示しています。

(製品別売上高)

報告 セグメント	区分	前第3四半期累計期間 (23/4～23/12)		当第3四半期累計期間 (24/4～24/12)		増減	
		金額 (億円)	構成比 (%)	金額 (億円)	構成比 (%)	金額 (億円)	比率 (%)
ガラス事業	電子・情報用ガラス	2,141	81	1,773	79	△368	△17
	その他用ガラス	506	19	465	21	△41	△8
合計		2,648	100	2,239	100	△409	△15

(注) 記載金額は、億円未満を切捨てて表示しています。

(売上高)

・電子・情報用ガラス：

LCD用基板ガラスの販売は、第1四半期から第2四半期にかけて緩やかな回復を示したものの、第3四半期に入り減速に転じました。プラズマディスプレイ用基板ガラスは、市場縮小の影響を大きく受け販売は減少しました。光関連ガラスは、通信インフラ需要を背景に堅調に推移しましたが、イメージセンサ用カバーガラスは、第3四半期にデジタル一眼カメラ向けなどの需要が減少し販売が低下しました。

・その他用ガラス：

ガラスファイバの販売は、自動車部品向けを中心に第1四半期は回復基調で推移したものの、第2四半期に減速に転じて以降、調整局面が続きました。耐熱・建築・その他の事業は依然として関連市場の回復が鈍く、販売は低調な結果となりました。

(損益面)

第1四半期から第2四半期にかけて損益は回復軌道をたどりましたが、第3四半期に入り、主としてLCD用基板ガラスの販売減速や価格の下落、生産性改善の遅れ、新材質の量産に伴う立上げコストなどが利益を圧迫し、前年同期と比べ大幅な減益となりました。

(2) 連結業績予想に関する定性的情報

	24年3月期 (23/4～24/3) (億円)	25年3月期 (24/4～25/3) (億円)	増減 (%)
売上高	3,382	2,850～2,950	△16～△13
営業利益	616	215～265	△65～△57
経常利益	568	185～235	△67～△59
純利益	194	65～95	△67～△51

(注) 記載金額は、億円未満を切捨てて表示しています。

世界経済は、欧州債務危機の沈静化などを背景にやや落ち着きを見せ始めたものの、当社を取り巻く事業環境は、第4四半期(平成25年1月1日～3月31日)についても、厳しい状況が続くものと予想しています。

電子・情報用ガラスでは、ディスプレイ市場の減速に伴い主力のLCD用基板ガラスにおいて需要の減少が見込まれ、その他用ガラスについても一般的に調整局面が続く見通しです。損益面では、製品価格の下落や稼働調整などが利益を圧迫することが予想されます。当社といたしましては、需要動向に即した稼働を行いつつ、高精細ディスプレイ用ガラスや化学強化専用ガラスに注力するなど今後の事業展開を見据えた取り組みを加速する一方、生産性の向上と諸費用の削減に努め、利益の確保に全力を上げる所存です。

上記第4四半期の見通しを踏まえ、平成25年3月期の連結業績を上表のとおり予想しています。

(業績予想の開示について)

証券取引所が定める適時開示基準に基づく開示に加え、投資家の皆さまに、より迅速・適切な業績情報をご提供するため、以下の要領で当期業績見込みをお知らせします。

予定時期	当期業績見込み(累計ベース) (数値開示)
6月下旬	第1四半期
9月下旬	第2四半期
12月下旬	第3四半期
3月下旬	通期

なお、四半期ベースでの次期見通しについては、四半期業績発表の際に決算短信上で開示します。

本資料に記載されている業績予想は、当社グループが合理的と判断する一定の前提に基づいて作成したものであり、リスクや不確定要素を含んだものです。実際の業績は、様々な重要な要素により、業績予想と大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる要素としては、世界の市場における経済情勢、貿易規制などの各種規制、主要市場における製品需給の急激な変動、資本市場での相場的大幅な変動、ドル・ユーロなど対円為替相場や金利の大幅な変動などの金融情勢、急激な技術変化などが含まれますが、これ以外にも様々な要素がありえます。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当第3四半期会計期間を含む年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

有形固定資産の減価償却方法の変更

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しています。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期累計期間の営業利益は325百万円、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ326百万円増加しています。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	105,827	96,479
受取手形及び売掛金	56,230	55,202
商品及び製品	29,830	29,461
仕掛品	2,170	2,283
原材料及び貯蔵品	20,905	20,598
その他	9,555	15,576
貸倒引当金	△103	△104
流動資産合計	224,415	219,496
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具（純額）	328,541	311,238
その他（純額）	91,769	86,901
有形固定資産合計	420,311	398,140
無形固定資産		
投資その他の資産	1,458	1,874
その他	40,930	46,971
貸倒引当金	△45	△46
投資その他の資産合計	40,884	46,924
固定資産合計	462,654	446,940
資産合計	687,069	666,436
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	41,208	40,087
短期借入金	43,398	23,547
未払法人税等	2,005	1,097
その他の引当金	131	86
その他	48,455	27,251
流動負債合計	135,199	92,070
固定負債		
社債	20,000	40,000
長期借入金	20,413	17,427
特別修繕引当金	33,430	33,962
その他の引当金	1,487	881
その他	801	1,269
固定負債合計	76,133	93,541
負債合計	211,333	185,611

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	32,155	32,155
資本剰余金	34,355	34,352
利益剰余金	415,799	415,064
自己株式	△274	△271
株主資本合計	482,037	481,302
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	824	4,718
繰延ヘッジ損益	△5	△93
為替換算調整勘定	△12,572	△11,086
その他の包括利益累計額合計	△11,753	△6,461
少数株主持分	5,452	5,984
純資産合計	475,736	480,825
負債純資産合計	687,069	666,436

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	264,845	223,914
売上原価	184,406	181,964
売上総利益	80,438	41,950
販売費及び一般管理費	21,316	20,011
営業利益	59,122	21,938
営業外収益		
受取利息	101	90
受取配当金	430	541
その他	764	759
営業外収益合計	1,297	1,391
営業外費用		
支払利息	718	573
固定資産除却損	1,032	1,011
休止固定資産減価償却費	1,425	1,347
その他	2,821	1,233
営業外費用合計	5,999	4,166
経常利益	54,420	19,163
特別利益		
特別修繕引当金戻入額	687	1,602
投資有価証券売却益	1,478	—
その他	7	160
特別利益合計	2,173	1,762
特別損失		
固定資産除却損	2,259	709
投資有価証券評価損	—	4,074
競争法関連引当金繰入額	4,753	—
その他	855	1,229
特別損失合計	7,868	6,013
税金等調整前四半期純利益	48,724	14,912
法人税等	20,402	6,765
少数株主損益調整前四半期純利益	28,321	8,147
少数株主利益	839	899
四半期純利益	27,481	7,247

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	28,321	8,147
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,916	3,894
繰延ヘッジ損益	14	△87
為替換算調整勘定	△4,299	1,484
その他の包括利益合計	△7,200	5,291
四半期包括利益	21,120	13,438
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	20,296	12,539
少数株主に係る四半期包括利益	823	898

(3) (参考) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	48,724	14,912
減価償却費	38,960	34,199
売上債権の増減額 (△は増加)	9,094	1,153
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△6,776	808
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,634	△11,870
法人税等の支払額	△32,315	△9,190
その他	11,397	4,952
営業活動によるキャッシュ・フロー	72,719	34,967
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△68,025	△27,055
その他	△880	△10,415
投資活動によるキャッシュ・フロー	△68,906	△37,471
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長短借入金及び社債等の純増減額 (△は減少)	△6,015	△2,848
配当金の支払額	△6,965	△7,960
その他	△312	△94
財務活動によるキャッシュ・フロー	△13,293	△10,903
現金及び現金同等物に係る換算差額	△280	106
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△9,761	△13,300
現金及び現金同等物の期首残高	116,366	105,209
現金及び現金同等物の四半期末残高	106,605	91,909

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。
- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。